



多賀城期待の新世代

学生が活躍する団体に新たなリーダー・メンバーが誕生しました!



復興応援団

FUKKOU-OUENDAN

住民主役の復興を目指し、多賀城市や南三陸町などで活躍しています。多賀城では、大学生が主力となって地域の魅力を発信する「復興応援団だより(月1回 1,000部発行)」を仮設住宅で配ったり、地域のイベントのサポートをしています。

今年の春に加わった
東北学院大学工学部1年 品川裕大さん

コミュニケーション力や
協調性が身につきます。
ボランティア先で名産を食べる
のも楽しみ!



イベントの運営やお店への
取材、他の大学の学生との交流
など、普段とは違う経験やつながり
ができることが活動の魅力!

昨年の夏に加わった
東北学院大学工学部2年 馬場康平さん

ジュニア
リーダー

エステバン

子どもたちをまとめるお兄さん・お姉さん。多賀城の中学生、高校生が中心となって町内会の行事や地域のイベントで子どもたちと遊んだり、キャンプをします。活動を通して集団生活のルールを学ぶことができます。



新メンバーたちの研修。危険な場所を発見するトレーニングもしっかり行います。



エステバンの新隊長 高校2年生の鈴木佑奈さん(キャンプ名:ドクター)。前隊長からは「とにかく楽しむこと!」と教わったそうです。

HP: <http://www.fukkou-ouendan.com/>
E-mail: info@fukkou-ouendan.com

興味のある方はコチラまで

電話: 022-368-0133 多賀城市中央公民館
(多賀城市文化センター内) 担当: 守田

復興応援団・エステバンはたがさぼPressでも紹介しています。「多賀城を元気にする若い力」2014年8月16日(土)掲載



ヒント from “たがさぼPress”

たがさぼのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介します

詳しくはブログへ <http://blog.canpan.info/tagasapo/>

🗨️ NPOの「レシピ」があつまる! ChangeRecipe

「活動に役立つ情報を知りたい」「難しい制度を少しでも分かりやすく学びたい」という方は、ぜひチェックを! 2014年7月31日(木)掲載

🗨️ 手づくり募金箱で、楽しく寄付の受け付けを!

募金箱にちょっとした工夫や仕掛けをすることで、団体への関心度が上がり、募金をしてくれる人が増えるかも? 2014年7月29日(火)掲載

🗨️ 多賀城市文化センター「ロビーステージ&サークルフェア」

多賀城市内で活動する文化団体・サークルが大集合! 約35団体が、日ごろの活動の成果を発表しました。 2014年7月27日(日)掲載

“たがさぼPress”とは?

たがさぼスタッフによるブログ。興味が湧いたらたがさぼPressへ! *ケータイ、スマホからもご覧いただけます。



たがさぼからのお知らせ

たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

わたしがTシャツをつくる理由

NPO法人GIFTHOPE(ギフトホープ)が制作するTシャツの展示会とトークイベントを開催!「デザインで社会を変えたい!」という熱い想いを持つデザイナーたちの手がけたTシャツ約30点がたがさぼに集まります。ファッションに興味のある方はぜひご参加ください!



Tシャツ展 2014年9月6日(土)-9月20日(土)

午前9時-午後9時30分 ※日曜・祝日・最終日は午後5時まで、水曜は休館



トークイベント 2014年9月13日(土)
午後1時-午後2時30分

会場	多賀城市市民活動サポートセンター 2階ギャラリー
費用	Tシャツ展: 無料 / トークイベント: 500円
申込	Tシャツ展: 不要 / トークイベント: 要事前申込
問合せ	022-368-7745 (多賀城市市民活動サポートセンター)

地域に飛び出す！ 多賀城高校 ボランティア同好会

地域の人とふれあう
貴重な体験ですね～



勉強や部活動だけではなく、防災・ボランティア活動にも積極的に取り組む多賀城高校に今年4月、ボランティア同好会が発足。同好会の取り組みについて、2年の相澤真帆さん、小野果菜さんと顧問の小野敬弘先生にお話を聞きました。

「楽しそう！」という気持ちから

電柱への津波標識の設置など高校に依頼のあったボランティア活動に積極的に参加してきた相澤さんと小野さん。参加した理由を聞くと、「楽しそうだったから！」。活動する中で「もっとボランティアで地域に関わっていきたい！」という思いを持ち、先生に相談したことがきっかけで同好会ができました。同好会としてはこれまで、鶴ヶ谷児童館のこどもまつり、塩竈みなと祭への参加や各種募金活動などを行ってきました。

誰にでもできることを伝えたい

8月末には鶴ヶ谷児童館の「こどものまちイン多賀城」に参加予定で、大学生と企画を考えたり、子どもたちとふれあうのが楽しみです。また、ゆくゆくは地域のお祭りやイベントにも参加して、地域が元気になるお手伝いもしたいと考えています。「これからも部活とボランティアを両立し、私たち自身も楽しみながら活動することで『ボランティアは堅苦しいものじゃない』ことを知ってもらい、より多くの生徒に参加してほしい」とのことです。



子どもとふれあう生徒たち
提供…多賀城市鶴ヶ谷児童館



左から小野さん、相澤さん、小野先生

ボランティアで感じたやりがいと楽しさ

地域に出てはじめて、高校生などの若い人が地域から必要とされていることを実感しました。ボランティアを通して地域の人に喜んでもらえること、自分が通う高校について知ってもらう機会にもなっていることが嬉しいです。(相澤さん)

ボランティアに行き、その地域の様子について見聞きするのが楽しいです。自分の住んでいる所との違いを知ったり、取り組みを比べることで「このことは他の地区でも生かせそうだ」と考えるきっかけにもなっています。(小野さん)

多賀城高校ボランティア同好会

今年4月に発足。これまでに約30名が活動に参加。部員は他の部との掛け持ちで、ボランティア募集があった時に都合がつく生徒が参加する形をとっています。

連絡先：多賀城高等学校 022-366-1225 担当：小野先生



ブックレビュー

たがさぽ図書コーナーの中から活動に役立つ本をご紹介します

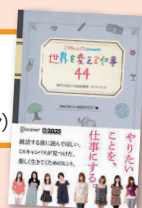
自分の生きている「世界」を少しでも知ることができたとき、私の目の前の世界は輝きはじめました。

先進国で肥満が問題となる一方で途上国には飢餓で苦しむ人がいます。また、私たちの住むまちには路上やインターネットカフェでの生活を余儀なくされる人がいます。本書は、こうした課題を抱える世の中を変えていこうと活動するNPO・NGOを紹介しています。・・・と書くと「真面目で難しそうだ」と感じるかもしれません。しかし、実はこの本、ミスキャンパスたちがつくっているのです。彼女たちの目線で取材し編集された本書は、分かりやすくNPO・NGOの活動にふれることができる一冊です。

「Sweet Smile」発起人 山崎ひな子さんは、自身がNPO・NGOの

ミスキャンパス「世界を変える仕事44」

Sweet Smile.2025PROJECT編(2010年ディスカヴァートゥエンティワン)



活動で目の当たりにした世界の現状を多くの人に伝えるため、学生たちの注目を集めるミスコンテストに出場。見事ミスキャンパスに選ばれました。他大学のミスキャンパスにも声をかけ「Sweet Smile」を設立。ミスキャンパスという立場を生かして世界の現状を発信し、社会貢献の輪を広げる活動をしています。

私たちの住むまち、そして世界を変えるのはまず「知る」ことから。「どんな課題や活動があるんだろう」と思ったらぜひ読んでみてください。もちろん、「ミスキャンパスが好き!」「目指している!」という方も必読です。



「tag」には、多賀城 (tagajo) の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ (価値) をつける、という意味が込められています。



「たがさぽ」ではツイッターもやっています。フォローお願いします!
@tagasapo



「たがさぽ」ホームページはこちら
<http://www.tagasapo.org/>